

ふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界を見つめる

## 「ふるさと学習」の導入について



教育部学校教育課

本市はかつて、絹産業が栄え、現在は機械工業へと発展し、豊かな地域社会を形成してきました。現在、本市にある田島弥平旧宅が、富岡製糸場と絹産業遺産群として、世界遺産候補になっています。このような絹産業やその後の機械工業が果たしてきた役割について、大人が学んで子どもに伝えることで、子ども自身が自ら生活している地域を見つめ、ふるさと伊勢崎に誇りをもち、伊勢崎から世界に目を向けることができるようにしたいと考え、今年度より、全ての小中学校に「ふるさと学習」を導入します。

記

**1 対 象** 市内全小中学校

**2 内 容**

これまで各学校が取り組んできた地域学習を生かし、歴史や文化、自然などの地域の教育資源を活用し、地域のよさを学びます。様々な交流、調査発表や友達との意見交換を通して、広い視野から物事を考え、課題を解決し、自分の意思や考えを相手に分かりやすく表現できる児童生徒を育てていきます。

**3 地域の教育資源** 養蚕文化、地元農業、文化財、自然、伝統芸能、銘仙、地域住民  
地域行事、機械工業、地元企業や事業所など

**4 実施する教科等** 生活や社会科、総合的な学習の時間、学校行事等

※全小中学校内に

「ふるさと文庫」コーナーを設置。

※市教育研究所にふるさと学習研究班を置き、

実践的な研究による資料作成及び

市内学校への情報提供に取り組む。

